

平成31（2019）年度 全国学力・学習状況調査

—取手市の児童生徒の結果について—

取手市教育委員会指導課

平成31年4月18日（木）に全国一斉に行われた、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

その結果をもとに、取手市内の児童生徒の傾向を掲載します。

なお、この調査は学力の一部をはかるもので、学力のすべてを示すものではありません。



調査対象・・・小学校6年生，中学校3年生

調査内容・・・①教科に関する調査

小学校・・・国語，算数（各45分）

中学校・・・国語，数学，英語（各50分）

②生活習慣や学習環境に関する調査

国語

【小学校】

問題数 全14問

【中学校】

問題数 全10問

算数・数学

【小学校】算数

問題数 全14問

【中学校】数学

問題数 全16問

英語

【中学校のみ】

聞く・読む・書く 21問

話すこと 5問

今年度から、国語・算数（数学）のA問題・B問題が一体化され、一授業時間の中で一科目実施できるようになりました。

また、初めて中学校で英語の調査が実施されました。



取手市内小学校 国語の結果



成果がみられたところ

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる力（話す・聞く能力）
- 目的に応じて質問を工夫する力（話す・聞く能力）
- 目的に応じて文章の内容を的確に押さえて読む力（読む能力）

課題となったところ

- ▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力※昨年度に引き続き
（かんしん〔関心〕をもつ 友達にかぎらず〔限らず〕 調査のたいしょう〔対象〕）
- ▲一文を接続語「そこで」を使って二文に分ける力

今後に向けて



◆文脈に応じて、正しい漢字を書くことができるようにする。

- 教科書や漢字ドリルで登場した時だけの学習にとどまっていないだろうか？

→漢字そのもののもつ意味を考えながら、習った漢字を積極的に用いる。

→折に触れて同音異義語にも着目し、文脈に合わせて使えるようにする。

◆一文の長さを意識して、文を分け、分かりやすく書くことができるようにする。

- 自分で書いた文章を読み返さずに終わっていないだろうか？

→読み手にとって、長すぎる一文になっていないか確認する習慣を付ける。

→接続語の意味を理解し、効果的に用いるようにする。

取手市内中学校 国語の結果



成果がみられたところ

- 文章の構成や展開, 表現の仕方について, 根拠を明確にして自分の考えをもつ力
(読む能力)
- 伝えたい事柄について, 根拠を明確にして書く力(書く能力)

課題となったところ

- ▲封筒の書き方を理解して書く力(言語に関する知識・理解・技能)
- ▲話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ力(話す・聞く能力)

今後に向けて



◆手紙の基本的な書き方を理解して書くことができるようにする。

- メールだけでなく、手紙やハガキを書く機会を作っているだろうか？

→お世話になった人へのお礼状や、時候のあいさつなど、積極的に手紙やハガキを利用するようにする。

→相手の名前を他の文字より大きく書くことなど、日本に昔から伝わる、手紙の形式にこめられた、相手への敬意についても考えるようにする。

◆話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるようにする。

- 話合い活動で、一人一人が司会や記録の役割を経験しているだろうか？

→「多数決」のみに偏らない、司会の進め方や、参加者の発言の仕方などを見直すようにする。

取手市内小学校 算数の結果



成果がみられたところ

○棒グラフから、一方の数量がもう一方の数量の何倍になっているかを

読み取る力（数量や図形についての技能）

○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする力（数量や図形についての技能）

課題となったところ

▲示された除法の式の意味を理解する力（数量や図形についての知識・理解）

▲示された図形の面積の求め方を理解し、その求め方の説明を記述する力
（数学的な考え方）

今後に向けて



◆示された式の意味を理解することができるようにする。

●問題に与えられた数を機械的に並べて、式を立てていないだろうか？

→立てた式や、出てくる答えが、何を表しているのかを考えるようにする。

→式と具体的な場面とを関連付けるようにする。

◆示された図形の面積の求め方を理解し、言葉や数で説明できるようにする。

●公式を使って面積を求めることのみに終始し、求め方を説明しているだろうか？

→図形の構成についての見方を働かせ、既習の図形で構成されていることを捉えるようにする。

→数の意味や演算の意味を、図形と関連付けて説明するようにする。

取手市内中学校 数学の結果



成果がみられたところ

- 分布の傾向を読み取り,どのような代表値を用いるべきかを判断する力
- 与えられた説明を振り返って考え,式変形の目的を捉えることができる力

課題となったところ

- ▲反比例の表から x と y の関係を式で表すことができる力（数学的技能）
- ▲四則計算の結果の特徴を捉え、数の集合と四則計算の可能性について理解する力（数量や図形についての知識・理解）

今後に向けて



◆四則計算の可能性について理解することができるようにする。

- 計算の答えを出すことのみに終始し、四則計算の結果の特徴を捉えて計算しているだろうか？

→様々な整数を代入して四則計算を行い,その特徴について,話し合う場面をつくるようにする。

◆反比例の表から x と y の関係を式で表すことができるようにする。

- 「比例」と「反比例」のちがいが捉えられているだろうか？

→比例の関係と反比例の関係のちがいを表やグラフなどを使って視覚的に理解できるようにする。反比例は x と y の積が一定になることを確認するようにする。

成果がみられたところ

- 日常的な話題について、情報を正確に聞き取る力（聞くこと）
- 簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取る力（読むこと）



課題となったところ

- ▲文の中で適切に接続詞を用いる力（書くこと）
- ▲書かれた内容に対して自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉える力（読むこと）

今後に向けて



◆語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるようにする。

- 様々な個別の知識を活用させて文を書かせる機会を、多く設けているだろうか？
 - 憧れの人物や友達紹介など、具体的な言語活動場面で、聞いたり、読んだり話したりするとともに書かせる時間を確保するようにする。
 - 互いの英作文について生徒同士で読み合い、修正を加えるようにする。

◆読んだ内容について、自分の考えを整理して述べることができるようにする。

- 読んだことについて内容を理解するだけにとどまっていないだろうか？
 - 読んだ内容について、自分の考えや感想を、他者と伝え合う場面をつくり、最終的な自分の意見として書いてまとめるようにする。

児童生徒質問紙調査の結果



小学校児童質問紙の結果から

- 「**人の役に立つ人間になりたい**」と思っている児童の割合が高いです。
(昨年度から引き続きです。)
- 昼休みや放課後、学校が休みの日に**学校図書館(室)**や**地域の図書館に週に3回以上行く**児童の割合が高いです。
- ▲**地域の行事に参加**している児童の割合が全国と比較すると低いです。
- ▲「**自分にはよいところがある**」と思う児童の割合が全国と比較すると低いです。

中学校児童質問紙の結果から

- 毎日同じくらいの時刻に**起きて**、同じくらいの時刻に**寝ている**生徒の割合が高いです。
- 「**英語の授業**で学習したことは、将来、社会に出たときに**役に立つ**と思う」生徒の割合が高いです。
- ▲「**難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している**」と思う生徒の割合が全国と比較すると低いです。
- ▲「**自分にはよいところがある**」と思う生徒の割合が全国と比較すると低いです。



小中学生とも「自分にはよいところがある」と思う割合が全国と比べて低いことから、子供達が自己肯定感を高められるような取組を、さらに進めていきます。

児童生徒の生活習慣と学力の関係

児童生徒質問紙の結果と教科の正答率をクロス集計した結果から次のようなことが見えてきました。



このような子供ほど、正答率が高い結果が出ています。

【小学校】

下線が引いてあるものは
小中共通しています。

- 朝食を、毎日食べている児童
- 毎日同じくらいの時刻に寝ている児童
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と、学校での出来事について話をしている児童
- 学校に行くのが楽しいと思っている児童
- 自分で計画を立てて、家庭学習をしている児童



【中学校】

- 朝食を、毎日食べている生徒
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と、学校での出来事について話をしている生徒
- 読書が好きな生徒
- 総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる生徒
- 自分で計画を立てて、家庭学習をしている生徒



「朝食をしっかりと食べている」「自分で計画を立てて家庭学習をしている」などの基本的な生活習慣や、「家の人と学校での出来事について話をしている」などの家族のかかわりが、学力の根底を支える大きな要素であると捉えられます。学校では、「学校が楽しい」と思える居場所づくり、また、自分で課題を解決していくような主体的・対話的で深い学びのある学習を展開していきます。